

イベント情報

※日時・内容等が変更となる場合もありますので、記載情報については各問合せ先にご確認ください。

ごみゼロパッチワーク

【日時】1/4(土)、2/1(土) 10:00~12:00
 【場所】塚口さんさんタウン2番館コミュニティホール
 【内容】古着を布として使って、パッチワークパターンを覚えてみませんか? はじめての方でも大丈夫です。
 【定員】10名程度
 【参加費】530円 [ごみゼロ]
 【持ち物】裁縫道具 (家に端切れがあればご持参ください)
 ▼申込み・問合せ: NPO 法人あまがさき環境オープンカレッジ
 ☎06 (6421) 0544

ゴマダラチョウの幼虫さがし&野草がゆ

【日時】1/12(日) 9:40~12:00 ※雨天中止
 【場所】農業公園
 【集合】農業公園入口 (田能5丁目)
 【内容】①ゴマダラチョウの幼虫さがし
 ②野草のおかゆを食べよう
 【対象】自然に興味や関心のある子どもや大人
 【参加費】1人200円
 【持ち物】水筒、帽子、(軍手、マスク)
 ▼申込み・問合せ: 自然と文化の森協会
 ☒hukumo08@bca.bai.ne.jp (福本)

藻川クリーン作戦

【日時】1/15(水) 13:00~14:30 ※雨天中止
 【場所】藻川左岸河川敷
 【集合】藻川中園橋 東詰 (田能1丁目)
 【内容】①河原のゴミひろい ②植物観察
 【持ち物】軍手、帽子、(マスク、ゴミはさみ)
 ▼問合せ: NPO 法人まいどいんあまがさき
 ☎06 (6498) 4183 (見市<ミイチ>)



あるもんでパッチワーク

【日時】1/16(木) 13:30~15:30
 【場所】塚口さんさんタウン2番館コミュニティホール
 【内容】服としての役割を終えても、布としてまだまだ使えるものをゴミにしないでとことん活用! 古着や家にある端切れを使って、簡単にできる小物をつくりませんか?
 【定員】10名程度
 【参加費】500円(材料費込み)
 【持ち物】裁縫道具 (家に端切れがあればご持参ください)
 ▼申込み・問合せ: NPO 法人あまがさき環境オープンカレッジ
 ☎06 (6421) 0544

ヒメボタルが乱舞する風景を取り戻そう!! ~ヒメボタル生息地保全活動 in 猪名川~

【日時】1/19(日) 9:40~12:40
 ※雨天の時は、1/26(日)に延期
 【場所】猪名川河川敷
 【集合】猪名川公園北側河川敷 (椎堂1丁目)
 【内容】①河川敷の樹木伐採
 ②河川敷の自然観察
 【対象】自然に興味や関心のある子どもや大人
 【持ち物】水筒、帽子、軍手、タオル、(敷物)
 ▼申込み・問合せ: 自然と文化の森協会
 ☒hukumo08@bca.bai.ne.jp (福本)

あつまれ! いきものつ子! 「カモの木製クラフトをつくらう~冬のカモをみてみよう~」

【日時】1/26(日) 10:00~12:00
 ※雨天は内容を一部変更して実施
 【場所】尼崎の森中央緑地 パークセンター (扇町33-4)
 【内容】冬のカモを観察して、カモの木製クラフトをつくらう!
 【対象】5歳以上
 【定員】20名 (応募者多数の場合抽選)
 【参加費】1人300円
 【持ち物・服装】飲み物、あれば野鳥図鑑、暖かい服装でお越しください。
 【申込み】下記URLから、お申込みフォームへアクセスできます。お申込みフォームの質問に回答し、お申込みください。
 URL: <https://forms.gle/MJzNUttWfjebEZDC8>
 コチラのQRコードからもアクセスできます
 ※申込締切 1/16(木)
 ▼申込み・問合せ:
 尼崎の森中央緑地パークセンター
 ☎06 (6412) 1900



環境情報誌に、環境イベントや講座について掲載を希望される場合は、『情報提供シート』に記入していただき、あまがさき環境オープンカレッジまでご提出ください。『情報提供シート』は、あまがさき環境オープンカレッジのホームページよりダウンロードできます。
<https://www.aoce.info/aoce/あまがさきエゴ通信>



「カモの木製クラフトをつくらう」小森利絵

スズメ、ハト、カラス…インコ?

朝、ベランダに出ると、鳥のさえずり。「100年の森づくりのおかげで、野鳥も戻ってきているんだな、きつ」と嬉しくなったのは数年前のこと。昨年は風間でも鳥のさえずりが。何の鳥かはわからないし、姿も見えないけれど、まるでそばにいるかのような、はっきりとした大きな声に「尼崎も野鳥が身近になってきたね」なんて高校生の娘にしゃべりかけたら!

「知ってる? 東京も鳥がすこいらしいで。なんか、カワフルらしいわ」と娘。「へ? 東京? カラスじゃなくて? カワフル?」と聞き返したら、「インコが野生化しているらしいで」と教えてくれました。

調べてみたら、50年ほど前にペットブームでもたらされた「ワカケホンセイインコ」が野生化して、都心で増えているというニュースを発見! スズメ、ハト、カラス、インコのいる風景が当たり前になるかもしれない…なっている? そんなことが、鳥のことに限らず、いろんな面で起きているんだ、これまでも起きてきたんだと改めて意識しました。



鮮やかなグリーン色のワカケホンセイインコ

お手紙×季節の「おつがみじかん」
https://www.kansai-woman.net/Column_b20128.html

